

2024~2025年度 地区スローガン

持続可能なロータリーに！ 共に学び、共に行動
Make Rotary Sustainable ! Learn together Act together

No.34

2024~2025年度クラブテーマ

ロータリーを楽しみ、人生をエンジョイ

例会日 毎週火曜日 12:30~13:30 例会場 勝山市市民交流センター 〒911-0811 福井県勝山市片瀬町1丁目402番地

TEL 0779-87-7761 FAX 0779-87-7760

https://rid2650-pub.com/katsuyama/ Email:katsuyamarc@gmail.com

■会長 斎藤清一郎 ■幹事 久保光子 編集発行・文責 公共イメージ委員会

第3072回 例会 (3月25日)

●会長スピーチ

会長 斎藤 清一郎



春は三寒四温という言葉がありますが、近年は一寒六熱になってきているように感じます。春らしい季節がなく一気に暑くなるというような急激な温度変化に伴う花粉の飛散量の増加となっています。本当に高齢者には生活しにくい環境に

なっていると感じます。

今日から学校は春休みに入って、4月から新年度を迎えます。

私共ロータリークラブは7月からが新年度ですので、まだ3カ月あります。

今日は滝川自年度からPETSのお話があります。いよいよ私の年度も終盤に入ってきましたが、まだ地区大会や勝山クラブがホストで現新会長幹事会がありますので、最後まで皆さんよろしくお願いいたします。

●幹事報告

幹事 久保 光子

○例会終了後、理事役員会を開催しますのでよろしくお願いいたします。

○地区大会の出発時間は勝山市役所を7時半頃になると思います。

○現委員長にお願いしてあります引き継ぎ書はデータにて事務局まで提出をお願いします。

●委員会報告

●SAA

幅田 浩二

4月の会場設営はAグループとなりますのでよろしくお願いいたします。

●出席報告

上山 弥一

3月25日 欠席3名 85%

3月18日 欠席6名 71.43%

●ニコニコ報告

山内 政司

ヒトマメが建築最優秀賞を受賞して

上山弥一

届出欠席

斎藤清一郎・山内智子

会長エレクト研修セミナー資料より抜粋

2025-26 年度 地区基本方針 「未来へつなぐ」

国際ロータリー第2650地区
ガバナーエレクト 小崎 学

ロータリーの最大の財産は会員です。会員がどのようにロータリーと関わるかは様々です。

しかし、その基盤には、会員同士が互いを認め合い、支え合う強い絆が存在することが重要です。互いの個性を尊重し合い、一つのクラブとしてまとまること。そして、クラブが今後も活力を維持し、さらなる発展を遂げるためには、強固な基盤を築くことが欠かせません。

更に、クラブを維持、発展させて行くためには、人材の育成は欠かせません。ロータリー歴の長短にかかわらず、今より、より人間的に、またロータリアンとしても成長し資質を向上させることが不可欠です。

例会や奉仕活動等のロータリー活動に積極的に参加することで、自ずと成長していくことも活動目標のひとつです。これは私たちロータリアンだけでなく、私たちに関わる青少年たちにも同様の成長ができるようにすることも大切な活動目標です。

奉仕事業について

クラブで奉仕事業を計画する際には、次の6つの要素をしっかりと固めることが重要です。

- ・誰のために行うのか (受益者)
- ・なぜ行うのか (地域社会調査)
- ・何をするのか (プロジェクトの内容)
- ・いつ行うのか (9月~4月頃)
- ・どこで行うのか (実施地/場所)
- ・どのように行うのか (ロータリアンの役割)

これらを徹底的に話し合うことで、素晴らしい計画ができ、会員同士のつながりも強化されるでしょう。

計画した事業が地域社会や国際社会の課題解決に少しでも貢献できれば、クラブの公共イメージも向上し、会員増強にもつながります。

本日 プログラム	会員卓話 山内智子会員	4月6日 プログラム	地区大会	4月8日 プログラム	休会	4月15日 プログラム	ゲスト卓話 三宅小百合氏
-------------	----------------	---------------	------	---------------	----	----------------	-----------------

会員卓話

会長エレクト研修セミナー（PETS）報告

滝川 博則 会員



3月15日にペッツに参加してきました。
大野の中川会長予定者より一緒にとのことのお声がけをいただき、車で京都に向いました。

車中は昔話や現状の活動に華が咲き楽しい道中でした。

滋賀でランチをとり、970円の中華ランチを食べました。ちなみに会場ホテルのコーヒーは1100円と大変不思議な気持ちでした。（笑）

会場は先週お話ししましたが円卓になっており、同じ席の会長予定者の方々と直ぐに名刺交換を行いました。

中には勝山クラブの50周年記念式典に参加された方がおられて、当時のお話をされたり、恐竜についての話をされたりしました。ほとんど方々が初対面でしたが大変和やかな雰囲気でした。

その中でも来年度のガバナー補佐は大野ロータリークラブの松田先生でその存在も大変頼りがいがありました。

会議というと13時から17時30分の長時間でしたが、わりと短く感じました。

ただ某ロータリークラブの方の咳が激しく、聞いているだけで風邪がうつった気がしまして、現に帰る時は鼻が詰まってました。

さて2025-26年度の国際ロータリー会長はブラジルサンパウロのマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏です。

2025-2026年度の最大の特徴は例年あるテーマはなく会長メッセージとしてのみの文面でした。

『よいことのために手を取りあおう

UNITE FOR GOOD』

これがメッセージです。

この流れに従い地区としてのテーマ無し、メッセージのみとなります。

私自身もテーマ無しメッセージのみの文面となります。

2650地区の小崎学ガバナーエレクトは大変真面目な方という印象です。本年の中本ガバナー的な笑いはなさそうなイメージです。

お話しで印象的な内容は3点。

1、自身をATMで対応して欲しいとの事。

Aは明るく

Tは楽しく

Mは前向きに

のATMです。

なんでもコロナ禍自身がメンタル的にやられて、この境地に至ったそうです。

2、ロータリー活動的には委員会開催の重視を説かれていました。

委員長一人で考え行動するのではなく委員会を開催し委員会として動いて欲しいとの事です。

3、3年間目標を設定しクラブ活動をして欲しいとのこと。
3年間目標を設定する場合、場合によっては委員長の任期を複数年にするなど継続性を担保する方法を新たに取入れることも考えられるとの事。

この3点を大変強調されておりました。

ガバナーエレクトのお話しの次に、千大宗匠の特別講話として30分。時間ぴったり、立ってお話しされました。

その中で「トムソーヤの冒険」の話を引き合いに出され、ロータリーのすべてだということでした。

この話をよく知らないなので、一度読んで勉強したいと思います。

次にグループに分かれてのグループディスカッションが行われ、一人ひとりが自身の職業の話をしたり次年度の抱負の話しを披露しました。

例会の開催日数や開催時間、会員拡大や海外ロータリーとの関わりなど正直もっと話しを聞きたい内容ばかりでした。会費の値上げについての話もあり、値上げもやむなしという空気感でした。

周年行事やIMなどを経験することによっての強固さを感じまして、残念ながら我々はコロナでIMを経験することはできませんでした。

みんなで何かをやり遂げることは必要だと感じています。それをどのようにやっていくかをみんなで考え、3か年計画の中でやっていけたらいいなと思っています。

休憩後、地区委員会委員長のPRタイムがあり、中でも松原六郎ロータリー財団委員長のワイシャツ脱ぎすて財団の赤いTシャツに変身してのPRは彼の方ならではのパフォーマンスではありますが、地域に良い事をするために事業を構築、そのために必要な予算を取りに来て欲しい！という熱きメッセージはかなり響きました。

予算的な話しで値上げの話しが3つ。

ガバナー事務所負担金が1名5000円から6000円へ

地区大会分担金が1名10000円から110000円へ

地区研修、協議会費9000円×9名＝81000円の負担金

（これは2024-2025も同じ）

公式訪問は9月9日（火）に決定しています。

予定をいれておいてください。